# 平成24年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月24日


上場会社名　株式会社 東陽テクニカ　　上場取引所　東
コード番号　8151　URL　http://www.toyo.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 五味　勝
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長兼経理部長　(氏名) 十時　崇蔵　TEL 03-3279-0771

四半期報告書提出予定日　平成24年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第1四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年9月期第1四半期 | 4,465 | 11.9 | 235 | 11.4 | 349 | 13.8 | 180 | 2.3 |
| 23年9月期第1四半期 | 3,988 | 18.0 | 211 | ― | 307 | ― | 176 | △85.4 |

(注)包括利益　24年9月期第1四半期　153百万円　(△6.1%)　23年9月期第1四半期　163百万円　(―%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年9月期第1四半期 | 6.21 | 6.19 |
| 23年9月期第1四半期 | 6.07 | 6.06 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 24年9月期第1四半期 | 33,959 | 30,868 | 90.8 | 1,060.55 |
| 23年9月期 | 35,084 | 31,093 | 88.6 | 1,068.30 |

(参考) 自己資本　24年9月期第1四半期　30,845百万円　23年9月期　31,070百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年9月期 | ― | 16.00 | ― | 13.00 | 29.00 |
| 24年9月期 | ― | | | | |
| 24年9月期(予想) | | 12.00 | ― | 26.00 | 38.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 11,500 | 6.4 | 2,000 | 9.4 | 2,150 | 8.3 | 1,250 | 6.6 | 42.98 |
| 通期 | 21,000 | 14.2 | 2,950 | 48.1 | 3,250 | 39.0 | 1,850 | 32.8 | 63.61 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年9月期1Q | 30,637,000 株 | 23年9月期 | 30,637,000 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年9月期1Q | 1,552,242 株 | 23年9月期 | 1,552,722 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年9月期1Q | 29,084,521 株 | 23年9月期1Q | 29,080,480 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景、前提条件等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報(その他)に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）追加情報 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（４）セグメント情報等 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10
（６）重要な後発事象 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間は、ヨーロッパにおけるソブリンリスクがくすぶり続けるなか、世界をけん引する中国経済が減速傾向を見せ始めました。また日本経済においても不透明感が漂い、特に輸出企業は引き続く円高に危機感を募らせ、その対応に注力する状況が継続しました。

こうした中、当社グループは“はかる技術”を基本としたビジネスコンセプトを継続しながら、研究開発市場に傾注してまいりました。そして国内産業の次なる成長の糧となる“新しい技術・製品の開発”の一翼を担うべく、欧米を中心にした先端計測技術・機器の導入と、ソフトウェアを中心にした自社システム製品の増強に力を入れてきました。この結果、連結売上高は44億6千5百万円（前年同四半期比11.9%増）となりました。

売上高をセグメント別で見ますと、物性測定機器事業、振動解析測定機器事業、その他の測定機器事業はいずれも前年同四半期比増となったことから、これらを含む輸入国内取引は42億2千4百万円となりました。また、韓国向けを中心とした日本からの輸出取引高は2億4千1百万円となりました。

利益面では、営業利益2億3千5百万円（前年同四半期比11.4％増）、経常利益3億4千9百万円（前年同四半期比13.8％増）、四半期純利益は1億8千万円（前年同四半期比2.3％増）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

①物性測定機器事業

物性測定機器事業におきましては、新エネルギーの要素技術である電池素材の開発や新たな半導体素材の研究、更にはバイオテクノロジーにおいても物質の電気特性を測定評価するニーズが強まりました。この結果、売上高は8億5千5百万円（前年同四半期比12.5％増）、営業利益は2千8百万円（前年同四半期比223.9％増）となりました。

②情報通信測定機器事業

情報通信測定機器事業におきましては、スマートフォンの普及による急激なデータ増に対応すべく、ＬＴＥやクラウドコンピューティングに関連する技術開発が従来に倍するスピードで進んでおり、合わせてセキュリティへの関心の高まりも見せ始めました。この結果、売上高は11億1千5百万円（前年同四半期比3.9％減）、営業利益は9千2百万円（前年同四半期比36.9％減）となりました。

③振動解析測定機器事業

振動解析測定機器事業におきましては、自動車関連業界で培った測定技術とコンサルティング能力を鉄道・航空・宇宙関連産業に展開してきました。この結果、売上高は6億5千5百万円（前年同四半期比21.6％増）、営業利益は1億4千万円（前年同四半期比130.0％増）となりました。

④ＥＭＣ測定機器事業

ＥＭＣ測定機器事業におきましては、環境問題とも密接に関連する電磁波（ＥＭＣ）測定技術の中国を中心としたアジアでの拡がりが顕著になってきましたが、国内市場は低迷しました。この結果、売上高は3億6千1百万円（前年同四半期比17.6％減）、営業損失は3千9百万円（前年同四半期は4千5百万円の営業損失）となりました。

⑤その他の測定機器事業

その他の測定機器事業におきましては、多岐に渡る測定分野が対象になっており、その中で海洋計測における新製品効果がみられるようになりました。この結果、売上高は12億9千3百万円（前年同四半期比55.6％増）、営業利益は1億4千6百万円（前年同四半期比73.1％増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ11億2千4百万円減少し、339億5千9百万円となりました。主な減少要因は、現金及び預金の減少6億6千2百万円、投資有価証券の減少6億2千2百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ8億9千9百万円減少し、30億9千万円となりました。主な減少要因は、未払法人税等の減少8億円等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2億2千5百万円減少し、308億6千8百万円となりました。主な減少要因は、配当金の支払等による利益剰余金の減少1億9千7百万円等によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年９月期の連結業績予想につきましては、平成23年10月24日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項ありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①当第１四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し前連結会計年度末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

②定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

（３）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

当第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

## ３．四半期連結財務諸表

### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年９月30日） | 当第１四半期連結会計期間<br>（平成23年12月31日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,960,045 | 1,297,927 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,044,586 | 3,584,651 |
| 有価証券 | 8,237,951 | 8,276,320 |
| 商品及び製品 | 1,077,276 | 1,012,990 |
| その他 | 797,747 | 432,336 |
| 貸倒引当金 | △600 | △700 |
| 流動資産合計 | 15,117,006 | 14,603,526 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 2,620,659 | 2,598,568 |
| 車両運搬具（純額） | 10,857 | 11,183 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 421,849 | 457,095 |
| 土地 | 5,635,485 | 5,635,485 |
| 有形固定資産合計 | 8,688,851 | 8,702,332 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 60,028 | 56,702 |
| 無形固定資産合計 | 60,028 | 56,702 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 7,647,639 | 7,024,982 |
| その他 | 3,596,610 | 3,597,608 |
| 貸倒引当金 | △25,800 | △25,800 |
| 投資その他の資産合計 | 11,218,450 | 10,596,791 |
| 固定資産合計 | 19,967,330 | 19,355,826 |
| 資産合計 | 35,084,336 | 33,959,352 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,323,200 | 1,355,420 |
| 未払法人税等 | 810,059 | 9,797 |
| 賞与引当金 | 520,000 | 220,000 |
| 役員賞与引当金 | 30,000 | － |
| その他 | 702,017 | 885,874 |
| 流動負債合計 | 3,385,276 | 2,471,092 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 443,927 | 456,938 |
| その他 | 161,640 | 162,870 |
| 固定負債合計 | 605,567 | 619,808 |
| 負債合計 | 3,990,844 | 3,090,900 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年９月30日） | 当第１四半期連結会計期間<br>（平成23年12月31日） |
|---|---|---|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,158,000 | 4,158,000 |
| 資本剰余金 | 4,603,500 | 4,603,500 |
| 利益剰余金 | 24,067,720 | 23,869,721 |
| 自己株式 | △1,639,266 | △1,638,755 |
| 株主資本合計 | 31,189,953 | 30,992,465 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △61,759 | △95,105 |
| 繰延ヘッジ損益 | △5,315 | △3,720 |
| 為替換算調整勘定 | △52,140 | △47,941 |
| その他の包括利益累計額合計 | △119,214 | △146,766 |
| 新株予約権 | 22,753 | 22,753 |
| 純資産合計 | 31,093,492 | 30,868,451 |
| 負債純資産合計 | 35,084,336 | 33,959,352 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自　平成22年10月１日<br>至　平成22年12月31日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自　平成23年10月１日<br>至　平成23年12月31日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 3,988,652 | 4,465,124 |
| 売上原価 | 2,117,001 | 2,521,740 |
| 売上総利益 | 1,871,651 | 1,943,383 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,659,781 | 1,707,386 |
| 営業利益 | 211,869 | 235,997 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 29,963 | 33,110 |
| 受取配当金 | 8,497 | 17,395 |
| 有価証券売却益 | 11,104 | － |
| 為替差益 | 37,526 | 22,502 |
| 持分法による投資利益 | 2,576 | 894 |
| その他 | 7,597 | 47,429 |
| 営業外収益合計 | 97,267 | 121,332 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,077 | 1,007 |
| 有価証券売却損 | 660 | 6,238 |
| その他 | 1 | 112 |
| 営業外費用合計 | 1,738 | 7,358 |
| 経常利益 | 307,398 | 349,971 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 18,255 | 387 |
| 特別利益合計 | 18,255 | 387 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 1,674 | 254 |
| 特別損失合計 | 1,674 | 254 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 323,978 | 350,103 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,000 | 2,000 |
| 法人税等調整額 | 145,483 | 167,480 |
| 法人税等合計 | 147,483 | 169,480 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 176,495 | 180,623 |
| 四半期純利益 | 176,495 | 180,623 |

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自　平成22年10月１日<br>至　平成22年12月31日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自　平成23年10月１日<br>至　平成23年12月31日） |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 176,495 | 180,623 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △940 | △33,346 |
| 繰延ヘッジ損益 | △5,483 | 1,594 |
| 為替換算調整勘定 | △6,990 | 4,199 |
| その他の包括利益合計 | △13,414 | △27,552 |
| 四半期包括利益 | 163,080 | 153,071 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 163,080 | 153,071 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | － | － |

（3）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間(自　平成22年10月１日　至　平成22年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | | | その他（注） | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 物性測定機器事業 | 情報通信測定機器事業 | 振動解析測定機器事業 | EMC測定機器事業 | その他の測定機器事業 | 計 | | |
| 売上高 | 760,300 | 1,160,726 | 539,381 | 438,472 | 831,136 | 3,730,018 | 258,634 | 3,988,652 |
| セグメント利益又は損失（△） | 8,676 | 146,317 | 61,072 | △45,222 | 84,358 | 255,203 | 7,364 | 262,567 |

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に韓国向けの社会インフラ等の販売を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

| 利益 | 金額 |
|---|---|
| 報告セグメント計 | 255,203 |
| その他の区分の利益 | 7,364 |
| 全社費用（注） | △50,698 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 211,869 |

（注）　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間(自　平成23年10月１日　至　平成23年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | | | その他（注） | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 物性測定機器事業 | 情報通信測定機器事業 | 振動解析測定機器事業 | EMC測定機器事業 | その他の測定機器事業 | 計 | | |
| 売上高 | 855,024 | 1,115,118 | 655,810 | 361,143 | 1,293,024 | 4,280,121 | 185,003 | 4,465,124 |
| セグメント利益又は損失（△） | 28,107 | 92,282 | 140,473 | △39,193 | 146,045 | 367,716 | △4,890 | 362,825 |

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に韓国向けの社会インフラ等の販売を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

| 利益 | 金額 |
|---|---|
| 報告セグメント計 | 367,716 |
| その他の区分の損失 | △4,890 |
| 全社費用（注） | △126,827 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 235,997 |

（注）　全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）重要な後発事象

該当事項はありません。